

令和3年度 第4回横浜市動物園等指定管理者選定評価委員会 会議録	
日時	令和3年11月24日(水) 14:30～
開催場所	よこはま動物園ズーラシア 特別会議室
出席者	(委員) 小宮輝之委員長、浅井紀代子委員、齋藤毅憲委員、佐渡友陽一委員、間曾さちこ委員
開催形態	非公開
議 題	1 令和3年度第3回横浜市動物園等指定管理者選定評価委員会会議録案の確認 2 事業評価委員評価見直し案について 3 令和3年度上半期モニタリング報告

1 令和3年度第3回横浜市動物園等指定管理者選定評価委員会会議録案の確認

→了承

2 事業評価委員評価見直し案について

・確認項目をどのように扱うか確認したい。これ自体をPDCAサイクルにのせて今後見直す可能性はあるのか、もしくは今回の決定以降変更しないものか。

→時代とともに変わる様々な取組について、評価すべきところを適切に評価できるよう新たに作った視点のため、これが全てでそれ以外確認項目がないというのはそぐわないと考えている。ただし、継続した評価が必要であるため大項目については変更しない。確認項目については今回の内容をベースとして始め、今後別の視点が必要になれば新たに追加して見直していくものと捉えている。

・確認項目の4つめに「来園した人」への確認項目と「潜在的な来園者」への確認項目があるが表現を合わせたりまとめたりしたほうがよい。

・これらの表現が混同されがちであれば変えたほうがいいが、「来園した人」は、すでに来た人でありライトユーザーやリピーターであると想定され、「潜在的な来園者」は、まだ来ていない人であり本質的には対象が違う。そのため、来てくれる人だけではなく来ていない人のことも意識してほしいという意味で、項目が2つあることに意味がある。

→「来園した人への～」を「来園者への～」に変更する。

・6つめの項目に「各園の地域特性を生かした取組」とあるが、「地域」をぬいて「各園の特性」だけでもよいのではないか。

・動物園の特性とは、その動物園がどこにあるかということや公園と一体化しているなどという立地特性も当然含まれると考えるので、「各園の特性」でも十分成立する。しかし、受け止める側の認識にもよるため分かりやすい表現であればどちらでもよいと思う。

・「各園の特性」では、動物園の中にばかり目が向いてしまい動物園のまわりには目がいきにくいと考えられるのであれば「地域特性」をあえて使った方が分かりやすい。

・「地域特性」と書いてあると、地域ばかり意識して受け止められてしまうのではないか。

→事務局にて検討する。

・このような見直しができることは大変意味のあることである。

・分かりやすく易しい文章になっており良いと思う。

3 令和3年度上半期モニタリング報告

- ・高熱で入園をお断りしたと記載があるが、どのような状況だったか。
→入口の検温で基準値以上の発熱があり、複数回計測しても同様だったためマニュアルに則り対応した。
- ・金沢動物園における学生ボランティアの活動とはどのようなものか。
→多摩の動物園でも活動している大学生のボランティアサークルであるが、コロナ禍でリモート授業が続くサークル活動ができていなかった。そこで金沢動物園の職員が相談し、動物園が実施する環境保全クイズラリーの中身をリモートで作成しデザインしていただいた。内容の監修とチェックは、大学の先生にご指導いただき、完成したものを動物園で印刷し利用した。
- ・市内の学校で同様の活動を行っている学校はあるのか。
→現在は、ない。
- ・獣医が咬まれたとの報告があるが何の動物か。
→エリマキキツネザルである。ゲージに入っているエリマキキツネザルを治療しようとして、治療中の保定時につかみが甘く首が回って噛まれてしまった。
- ・金沢動物園は来年40年となり設備の老朽化が懸念されるが整備についてどのように考えているか。
→横浜市が実施する部分と指定管理者が主体的に実施する部分があるため、市としても計画的に進める必要があると認識している。野毛山動物園ではクラウドファンディングを実施し改修費用に充てた実績もあり、様々な状況をふまえ検討していきたい。
- ・ナラ枯れはどのような状況か。
→ナラ枯れは、カシノナガキクイムシという虫が集中して木の中に入り込み、ナラ菌が繁殖することで、木が水を吸い上げる力がなくなり枯れてしまう病気であり、関西では大量に発生して多くの木が枯れた。ナラ枯れが発生したその年に木が倒れるという危険性は少ないが、枯れて年数が経過すると倒木のリスクがあるため、特に園路際と広場沿いを優先的に伐採や剪定をしていく。
- ・対応が必要な木はどのくらいあるのか。
→ズーラシアでは自然体験林に80本程度、金沢動物園では園路際だけでも40本程度ある。下半期に指定管理者が伐採・剪定する予定である。
- ・対象の木はいつ植えたものか。
→開園当初からある。
- ・ズーラシアを見学したが、ネームプレートが日にやけて読めないものや剥がれているものがあったので点検したほうが良い。
→確認する。
- ・職員採用件数の報告があったが全体としてみるとどのような状況か。
→人数だけでみれば退職者数よりも雇用数が上回っている。

- ・本部及び3園すべてにおいて改善事項として良好な取組があったことは良いことである。
- ・SDG'sや域外保全の理解促進に取り組んでいるのが分かり、素晴らしいことである。
- ・金沢動物園のゾウ糞堆肥をズーラシアのかぼちゃ生産に利用しているとのことだが、どのような方法で実施しているか。またズーラシアでは堆肥化を行っていないのか。
 - 金沢動物園では機械ではなく、堆肥場でかくはんして作っている。最盛期に比べると生産量は減ったが現在は10トン程度生産している。ズーラシアでは実施していない。
- ・ポンチョ等の雨の日割引は、どれくらいの割引率か。
 - 10%である。
- ・雨具の園内貸し出しサービスは、ないのか。
 - ズーラシア開園当時は、ズーラシアのマーク付傘を無料貸出していたが現在は行っていない。当時売店との間で課題があったため、無料貸出は止めたと聞いている。
- ・エンリッチメント大賞の奨励賞受賞など、飼育の取組が着実に行われていることが分かる。今回エンリッチメント大賞を受賞した京都市動物園は、動物福祉の方針を作り運用するために組織的にしっかりと取り組んでいる。横浜市でも積み上げてきたものを組織的に運用する体制になるよう今後の展開に期待したい。
- ・動物園が休園の際に売店が利用できたらよい。特にズーラシアの周辺は歩いている方も多いので物販設備が何かあるとよい。
- ・近くのコンビニエンスストア等限定で動物園の商品を販売する方法もある。
- ・人件費を考慮すると自動販売機などもよいと思う。
 - 金沢動物園は自動販売機でオリジナルグッズを常時販売しており、売上もあがっている。

4 その他

次回は3月30日(水)視察の実施も含めて検討

配布資料	資料1 令和3年度第3回指定管理者選定評価委員会会議録案 資料2 事業評価見委員評価直し案について 資料3 令和3年度上半期モニタリング報告
------	--